



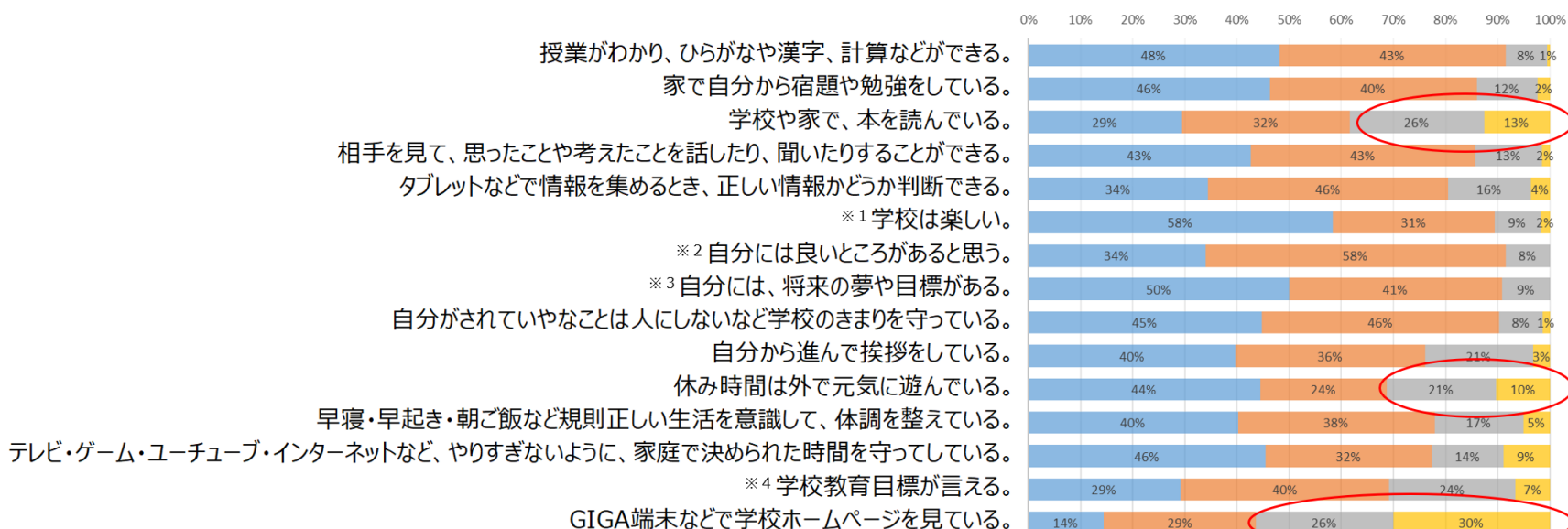
令和8年3月1日
京都市立藤城小学校
Tel 621-5580
学校長

よりよい藤城教育のために ～令和7年度後期 藤城教育アンケート～

NO. 1

12月に藤城教育アンケートを行いました。その結果をもとに、教職員や学校運営協議会で話し合い、今の藤城の子に必要な力は何か、3学期に向けてどんな姿を目指していけばいいのか真剣に考えました。今回の特別号では、その話し合った内容をまとめました。

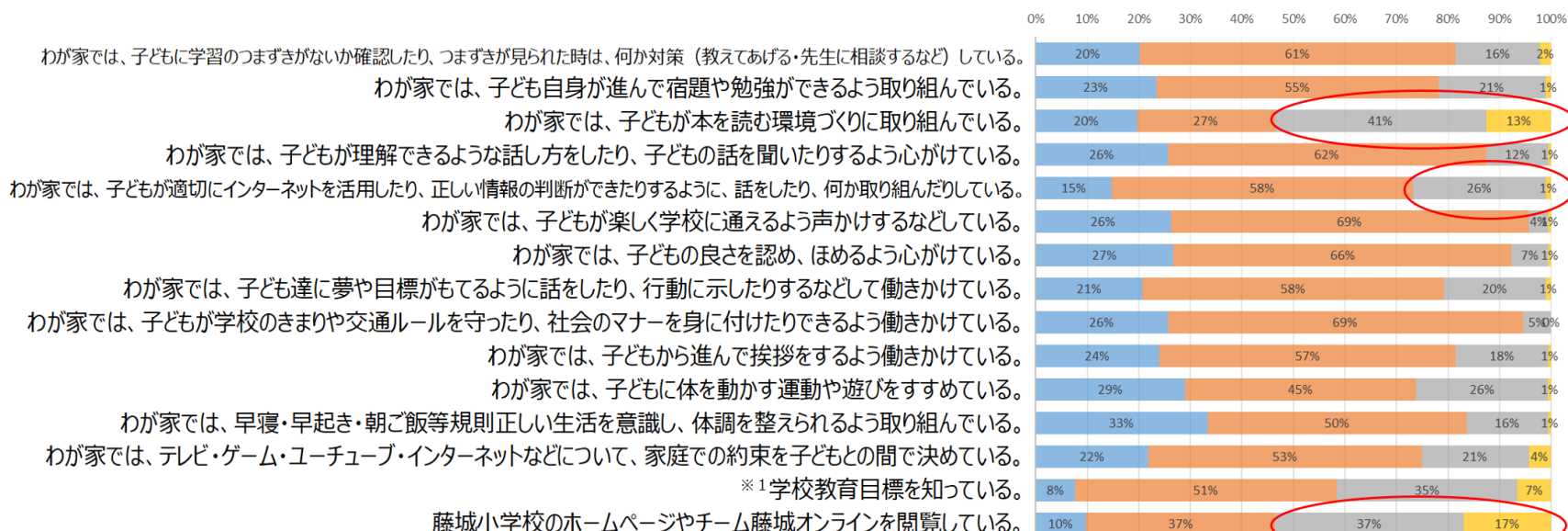
児童



- ・前期と比較して、傾向は大きな変化なし
- ・課題 読書、外遊び、ホームページ閲覧
- ・長所 読み書き計算、学校は楽しい、良いところや夢がある
- ・今後の対策として、引き続きアンケート結果も確認しつつ、職員の研修の中で各クラスの状況を確認し、各クラス運営に反映していく。

①よくできている ②大体できている ③あまりできていない ④できていない
※1 ①とても楽しい ②まあまあ楽しい ③あまり楽しくない ④楽しくない
※2 ①たくさんある ②まあまあある ③ない
※3 ①はっきりとある ②なんとなくある ③ない
※4 ①しっかり言える ②大体言える ③あまり言えない ④言えない

保護者



- ・前期と比較して、傾向は大きな変化なし。読書環境づくり、情報モラル 共にやや改善
- ・課題 読書環境づくり、情報モラル、ホームページ閲覧
- ・長所 子どもの話を聞く、きまりを守るよう働きかける
- ・今後の対策として、引き続きアンケート結果も確認しつつ、懇談会や家庭訪問等の機会を通じ、ご家庭で役立つ情報の共有など行う。

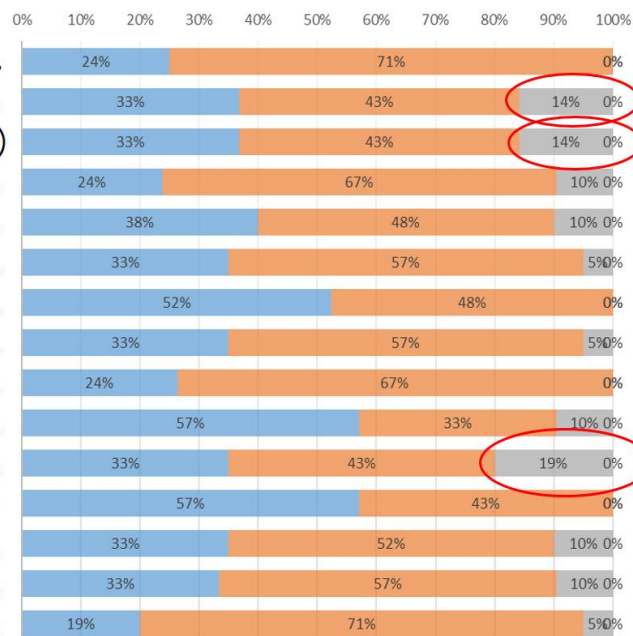
①よくできている ②大体できている ③あまりできていない ④できていない
※1 ①よく知っている ②大体知っている ③あまり知らない ④知らない

よりよい藤城教育のために ～令和7年度前期 藤城教育アンケート～

N0. 2

教職員

子ども達に、ひらがなや漢字、計算などの基礎的な学力の定着を図り、つけたい力を明確にした授業づくりに取り組んでいる。
家庭学習の習慣を身につけるための工夫や内容の充実を図っている。
読書活動の充実に向けて取り組んでいる。(読書タイム・図書室の利用・読書ノート・読書の取組など)
相手を意識して話したり聞いたりできる力、学年に応じた書く力の指導に取り組んでいる。
子ども達がICTを活用する授業づくりを工夫したり、情報モラルの指導に取り組んだりしている。
子どもたちが、楽しく学校に通えるような取組を行っている。
子どもの良いところを認め、ほめるよう心がけている。
子どもたちに、夢や目標を持てるよう話をしたり、行動に示したりするなどして働きかけている。
子どもたちが学校のきまりを守り、学習規律が身につくよう取り組んでいる。
自分から進んで挨拶をするよう働きかけている。
休み時間は、子どもに外で遊ぶように声かけを行うなどして働きかけている。
健康や安全に配慮した取組や適切な声かけをしている。(早寝・早起き・朝ご飯をはじめとした保健指導など)
テレビ・ゲーム・ユーチューブなど適切に時間を守ってするよう声かけをするなどの取組を行っている。
学校教育目標に向けて子どもの育成に取り組んでいる。
学級・学校だより、学校ホームページなどで、学校の様子を保護者に伝えている。

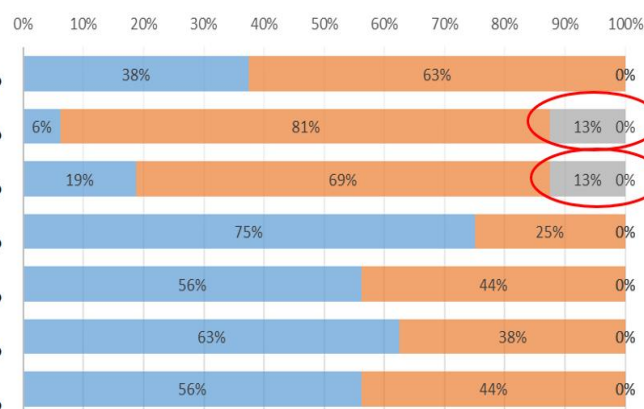


① ② ③ ④
①よくできている ②大体できている ③あまりできていない ④できていない

- ・前期と比較して、授業づくり、ほめる、声かけ、話す聞く書く力の指導 改善
- ・課題 家庭学習の習慣のための工夫、読書活動の取組、外遊びへの働きかけ
- ・長所 授業づくり、ほめる、きまりを守るよう働きかける、健康や安全への声かけ
- ・今後の対策として、引き続きアンケート結果も確認しつつ、職員同士でも声かけし合い、クラスの授業づくりや学校の雰囲気づくりに取り組んでいく。

地域

学校は、子どもたちが楽しく通えるような場所になっている。
子どもたちは、地域でのルールを守ったり、望ましい言葉遣いで話したりするなどのマナーを身に付けている。
子ども達や教職員は、すすんで挨拶をしている。
学校は、地域の活動や行事などに積極的に協力している。
学校は、学校教育目標「思いやりの心をもって生き生きと活動する子」を目指して取り組んでいる。
学校は、藤城小学校のホームページ等で学校の様子を分かりやすく発信している。
学校は、地域の声を聞き、学校運営に生かすなど開かれた教育活動を行っている。



① ② ③ ④

①よくできている ②大体できている ③あまりできていない ④できていない

- ・前期と比較して、分からない評価は無し。学校教育目標の取組 改善
- ・課題 地域でのルールを守る、望ましい言葉遣い、あいさつ
- ・長所 楽しく通える学校、地域行事に参加、開かれた教育活動
- ・今後の対策として、引き続きアンケート結果も確認しつつ、地域の方の気付きやお声もお聞きしながら、学校運営に反映していく。



よりよい藤城教育のために ～令和7年度前期 藤城教育アンケート～

NO. 3

第4回教職員研修の様子 1月8日（木）



各学年で前期のアンケートと比較

第4回教職員研修では、前期と後期の藤城教育アンケートを比較し、児童の変化や学級の傾向を共有しました。気づいたことを基に、より良い支援や学年での統一した関わりについて話し合いました。

その話し合いの中で出てきたのは、子どもたちの自己肯定感は少しずつ上がってきていることです。あとは、さらに周りの人のことを考えて、行動できるようになってほしいという話がありました。

また、子どもたちにたくさん『自己決定』をする場面をつくり、自ら進んで問いをもち、課題解決をするような授業を工夫していきたいという話も出ました。

今の子どもたちとしっかり向き合って、学習においても生活面においても自己調整のできる子、自ら学んでいける子に育てほしいという共通理解をしました。

第4回学校運営協議会の様子 2月21日(金)



第4回学校運営協議会では、藤城教育アンケートの結果報告と分析をもとに、地域の皆様と本校の子どもたちの「これからの目指す姿」について真剣に話し合いました。アンケートから見た子どもたちの良さや課題を共有し、家庭・地域・学校がそれぞれの立場からどのように支えていけるかを、多角的に検討する機会となりました。

また、顧問の先生方からは、SNSを中心とした現代社会の状況や、児童・保護者・教職員・地域の視点を踏まえて、これからの子どもに求められる力について丁寧な助言をいただきました。情報との関わり方や人とのつながり、自己を大切にする姿勢など、今後の教育に必要な視点を改めて確認することができました。今回の協議を踏まえ、藤城小学校は引き続き地域とともに、子どもたちの健やかな成長を支えていきます。

<顧問の先生からのお話>

- ・子どもたちのアンケート結果から、できることを認める経験が自己肯定感を高める一方、できない部分への適切な支援や励ましのバランスが必要である。
- ・主体性について、「自分勝手に行動すること」と誤解する危険性があり、目的を持って周囲と協働しながら行動する本来の主体性を育てる指導が重要である。
- ・現代の子どもたちは、デジタル環境の中で自分に都合のよい情報だけに囲まれる「フィルターバブル」的状況に陥りやすく、多面的に情報を収集し、分析した上で活用する。
- ・著作権や法令遵守の意識が弱まり、SNSでの無断転載などが“当たり前”の感覚で広がる危険性が示された。正しく学ぶ機会を失うと、大人も子供も誤った行動を容認してしまう可能性がある。
- ・ルールは「守るだけ」ではなく、守れない場合はどう改善するかを話し合い、変えていく姿勢も子供に示すべきという意見が出された。
- ・最終的に、学校・家庭・地域が協力し、法の支配や公共性を大切にする姿勢を子供たちへ広げていくことがこれからの教育の使命である。



よりよい藤城教育のために ～令和7年度前期 藤城教育アンケート～

NO. 4

子どもたちには、3学期にがんばりたいことや今、自分に必要な力について自由記述してもらい、まとめました。。一部ですが、紹介させていただきます。また、地域の方からは、家庭・学校・地域の三位一体の教育活動についてご意見をいただきました。今後も藤城教育推進のため、ご協力をよろしくお願いいたします。

1. 2年生：3学期にがんばりたいこと

内容	件数	割合
学習全般・勉強習慣	32	22.4%
算数・計算（かけ算・九九・ひき算・図形）	29	20.3%
体育・運動（サッカー・鉄棒・マラソン等）	14	9.8%
行動・ルール（校則・忘れ物・直し）	11	7.7%
友だち・人間関係（やさしさ・仲良し）	11	7.7%
テスト・成績（100点など）	10	7.0%
国語・文字（国語・漢字・ひらがな・カタカナ）	10	7.0%
生活習慣（早寝早起き・朝食・ゲーム時間）	8	5.6%
授業態度・学習姿勢（発表・手を挙げる・先生の話）	8	5.6%
あいさつ・礼儀	3	2.1%
芸術・表現（絵・図工）	1	0.7%

3～6年生：今自分に必要な力は？

内容	件数	割合
学習の基礎力（読解・語彙・説明・計算・漢字 など）	47	18.3%
思いやり・人間関係（相手の気持ちを考える・優しくする・助け合い など）	43	16.7%
主体性・積極性（自分から行動・挑戦・勇気・はっきり言う・決断 など）	42	16.3%
自己管理・自律（集中・切り替え・落ち着き・時間管理・けじめ など）	40	15.6%
コミュニケーション（話し合い・発表・反論・説明・聞く力・言葉遣い など）	22	8.6%
生活習慣（早寝早起き・朝食・外遊び・運動・規則正しい生活 など）	14	5.4%
その他	49	19.1%

保護者：今、藤城の児童に必要な力は？

内容	件数	割合
主体性・意思表示・挑戦	22	23.9%
あいさつ・礼儀・規範	16	17.4%
思いやり・共感・協力	9	9.8%
学力・学習基礎	9	9.8%
自己管理・自制・時間管理	8	8.7%
体力・健康・外遊び	2	2.2%
情報モラル・ネットリテラシー	2	2.2%
安全・危機管理	1	1.1%
その他	23	25.0%

地域：今、藤城の児童に必要な力は？

想像力
協調力
レジリエンス（精神的回復力）
思いやりの心
大きな声で挨拶をする力
友だちを思いやる気持ち
自分の考えをはっきり言える力
創造力
非認知能力

教職員：今、藤城の児童に必要な力は？

人の話を素直に聞く力
自分で決めて行動する力、決まりを守る力
自分の役割を考えるチカラ、人に喜んでもらうチカラ、未来をイメージするチカラ
やってみたことをあきらめずに取り組む力
自分の良いところをたくさん見つけること。
自分で判断し行動する力、友だちをおもいやる力、元気やパワーはすごくあります。
失敗を恐れず挑戦する姿勢
考えて行動する力
粘り強くやり抜く力
忍耐力
先生や大人の人への接し方をもっと理解できる力が必要だと思います。
また、掃除や与えられた作業的な勉強以外の仕事について努力する姿が見られるようになってほしいです。
一生懸命やる力 相手を思いやる力（心）
あいさつ、自分たちで考えて行動する力
見通しをもって取り組む力、物事を多方面から捉えて考える力
自分がすべきことを考えて行動に移す力。新しいことにチャレンジし、創意工夫できる力。
基本的な学力、基礎力、自律心
自分で、今何をしなければいけないかを考え、実行する力、よいとおもうことを積極的に実行していく力
コミュニケーション能力、自ら律する力

アンケート結果・分析を今後の藤城教育へ

本年度の藤城教育アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。地域・家庭・学校が三位一体となって子供たちの成長を支えてくださっていることを、皆様の温かいご意見から改めて感じました。

家庭での見守りや声かけ、地域での温かなまなざし、そして学校への信頼は、子供たちが安心して学びに向かう大きな力となっています。また、いただいたご意見は、学習環境の改善や安全指導、地域との連携強化に生かしてまいります。今後も藤城小学校は、地域と家庭とともに子供の未来を育む学校づくりを進めてまいります。変わらぬご支援を心よりお願い申し上げます。